

1 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成24年2月1日現在（以下「平成24年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は2万100戸で、前年に比べて900戸（4.3%）減少した。

飼養頭数は144万9,000頭で、前年に比べて1万8,000頭（1.2%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、経産牛は94万2,600頭で前年に比べて9,700頭（1.0%）増加し、未経産牛は50万6,400頭で前年に比べて2万8,000頭（5.2%）減少した。

なお、1戸当たりの飼養頭数は72.1頭で、前年に比べて2.2頭増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

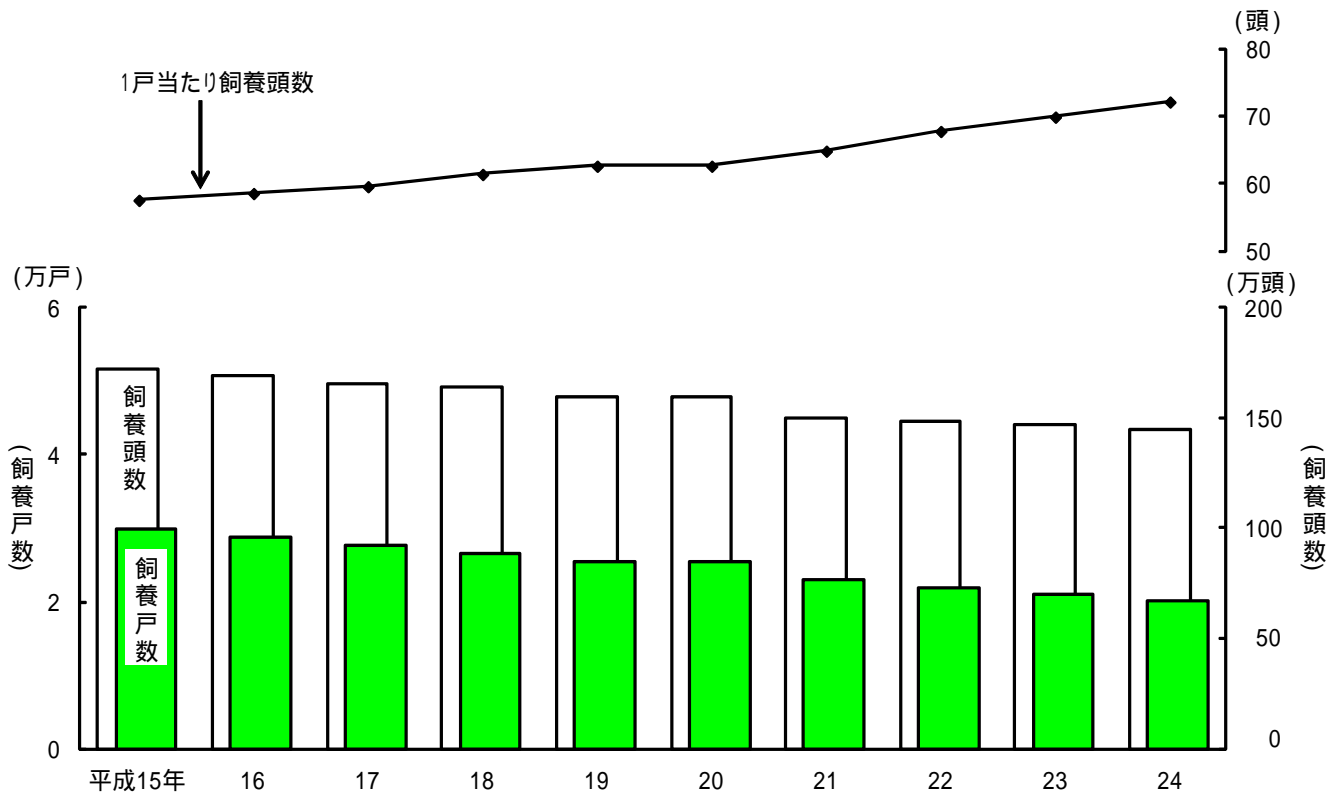


表1 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分	飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
		計	経産牛			未経産牛	
			小計	搾乳牛	乾乳牛		
戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	
実数 平成22年	21,900	1,484.0	963.8	829.7	134.1	520.5	67.8
23	21,000	1,467.0	932.9	804.7	128.2	534.4	69.9
24	20,100	1,449.0	942.6	812.7	129.9	506.4	72.1
対前年比 (%) 23/22	95.9	98.9	96.8	97.0	95.6	102.7	-
24/23	95.7	98.8	101.0	101.0	101.3	94.8	-
構成比 (%) 平成22年	-	100.0	64.9	55.9	9.0	35.1	-
23	-	100.0	63.6	54.9	8.7	36.4	-
24	-	100.0	65.1	56.1	9.0	34.9	-

(2) 成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて「100頭以上」の階層で8.0%増加し、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて、「20～29頭」の階層で1.2%、「100頭以上」の階層で4.6%増加し、その他の階層で減少した。

なお、飼養頭数規模別の飼養頭数割合は「100頭以上」の階層が約4割を占めている。

図2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

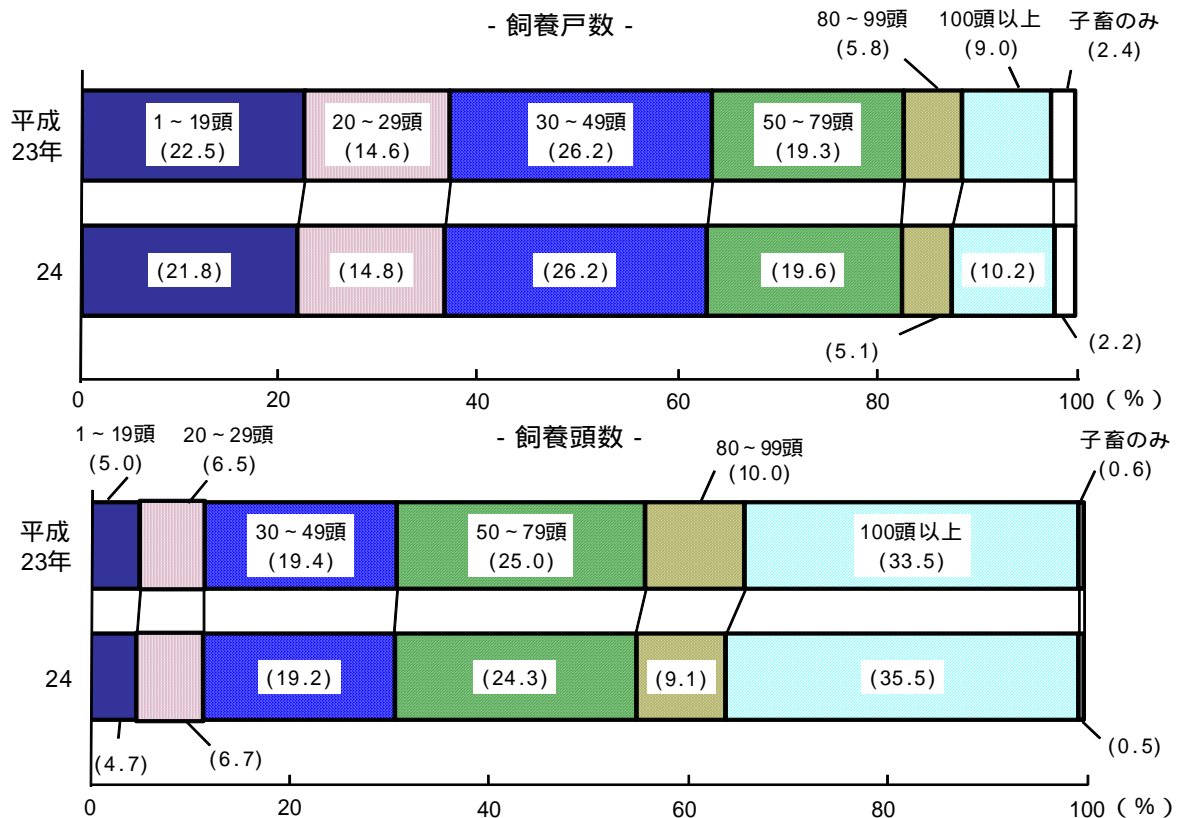


表2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜頭数規模								子畜のみ	
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数	実数 平成23年	戸	20,800	20,300	4,690	3,030	5,450	4,010	1,200	1,880	211	489
	24	"	19,900	19,400	4,340	2,940	5,210	3,910	1,010	2,030	203	443
	対前年比 24/23	%	95.7	95.6	92.5	97.0	95.6	97.5	84.2	108.0	96.2	90.6
	構成比 平成23年	"	100.0	97.6	22.5	14.6	26.2	19.3	5.8	9.0	1.0	2.4
24	"	100.0	97.5	21.8	14.8	26.2	19.6	5.1	10.2	1.0	2.2	
飼養頭数	実数 平成23年	千頭	1,442.0	1,433.0	71.6	94.2	280.2	359.9	144.6	482.7	132.5	8.8
	24	"	1,423.0	1,415.0	66.5	95.3	273.2	345.9	129.6	504.8	137.8	7.7
	対前年比 24/23	%	98.7	98.7	92.9	101.2	97.5	96.1	89.6	104.6	104.0	87.5
	構成比 平成23年	"	100.0	99.4	5.0	6.5	19.4	25.0	10.0	33.5	9.2	0.6
	24	"	100.0	99.4	4.7	6.7	19.2	24.3	9.1	35.5	9.7	0.5

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(3) 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間(平成23年2月から平成24年1月まで。以下同じ。)に飼料作物を作付けした戸数は1万7,700戸で、乳用牛飼養者の88.9%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

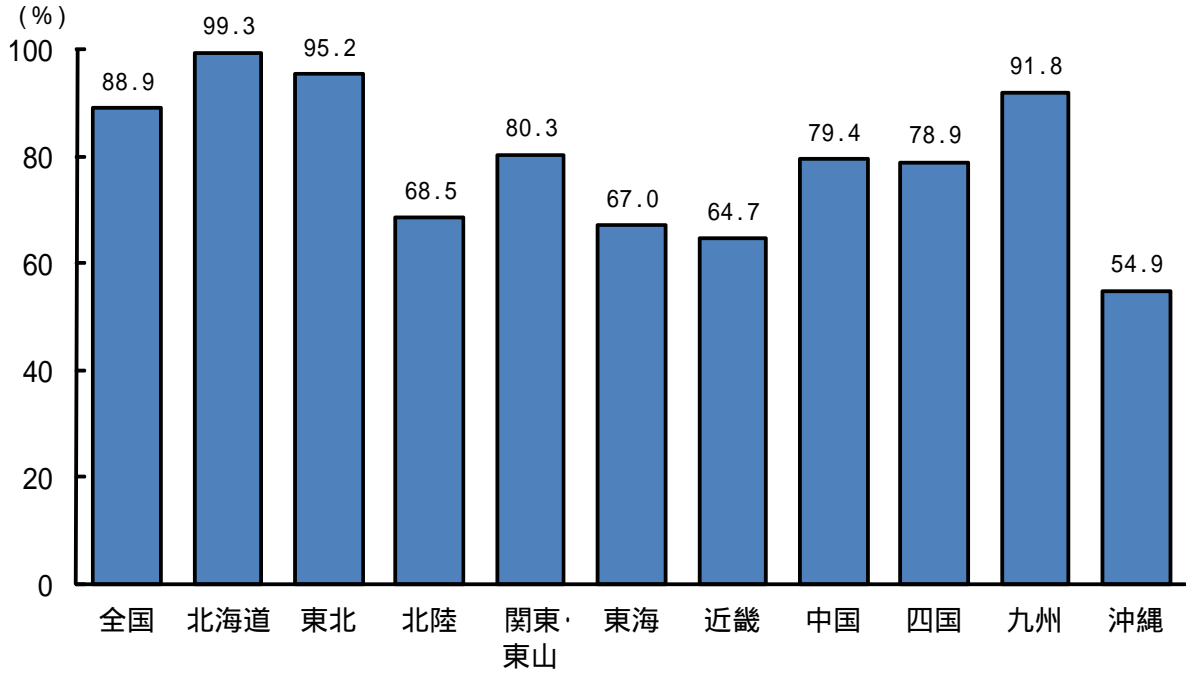


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区 分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全 国	19,900	17,700	88.9	505,100	474,600
北 海 道	7,230	7,180	99.3	426,700	406,200
東 北 北 陸	3,100	2,950	95.2	33,400	28,500
北 陸	419	287	68.5	2,220	1,630
関 東 ・ 東 山	4,070	3,270	80.3	18,800	16,800
東 海	898	602	67.0	2,960	2,720
近 畿	691	447	64.7	1,300	960
中 国	953	757	79.4	4,870	4,370
四 国	489	386	78.9	1,240	1,070
九 州	1,940	1,780	91.8	13,400	12,200
沖 縄	82	45	54.9	180	170

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は6,000戸で、乳用牛飼養者の30.2%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では66.7%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合

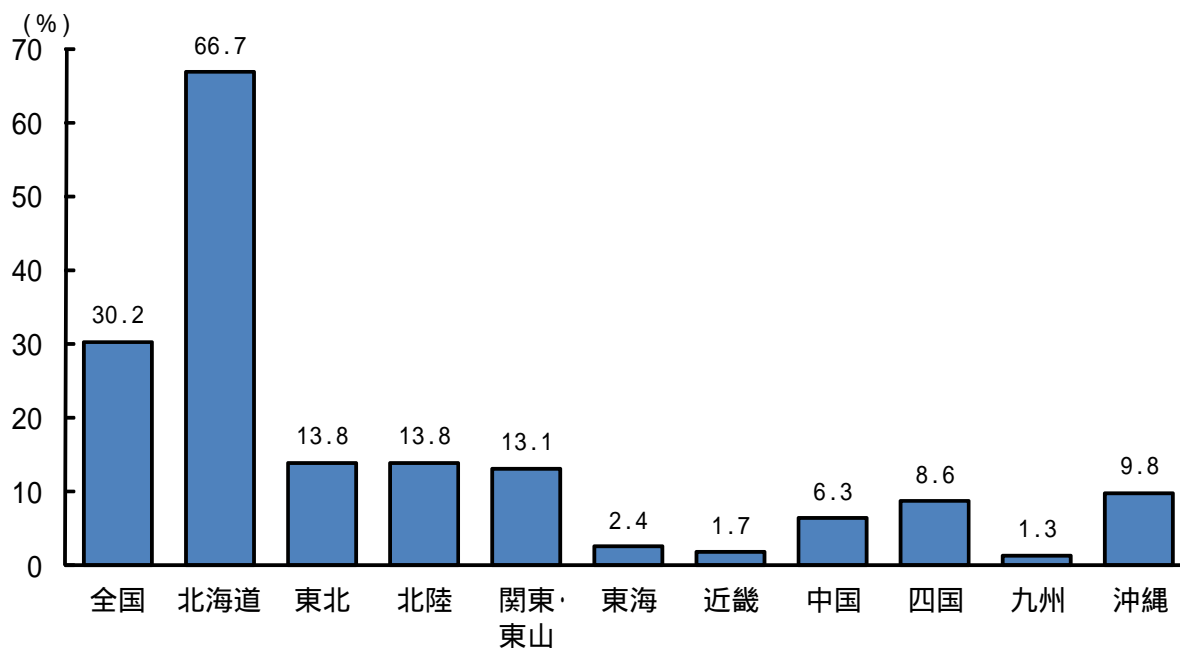


表4 乳用牛の放牧状況

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	19,900	6,000	30.2	281,500
北海道	7,230	4,820	66.7	263,200
東北	3,100	427	13.8	8,010
北陸	419	58	13.8	450
関東・東山	4,070	532	13.1	5,590
東海	898	22	2.4	770
近畿	691	12	1.7	140
中国	953	60	6.3	1,300
四国	489	42	8.6	950
九州	1,940	25	1.3	1,070
沖縄	82	8	9.8	80

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成24年の全国の肉用牛の飼養戸数は6万5,200戸で、前年に比べて4,400戸(6.3%)減少した。

飼養頭数は272万3,000頭で、前年に比べて4万頭(1.4%)減少した。飼養頭数の内訳をみると、肉用種は183万1,000頭で前年に比べて3万7,000頭(2.0%)減少し、乳用種は89万1,700頭で前年に比べて3,100頭(0.3%)減少した。

また、乳用種のうち、ホルスタイン種他は39万2,500頭で前年に比べて1万9,300頭(4.7%)減少し、交雑種(F1牛、F1クロス牛)は49万9,100頭で前年に比べて1万6,100頭(3.3%)増加した。

なお、1戸当たり飼養頭数は、41.8頭で前年に比べて2.1頭増加した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

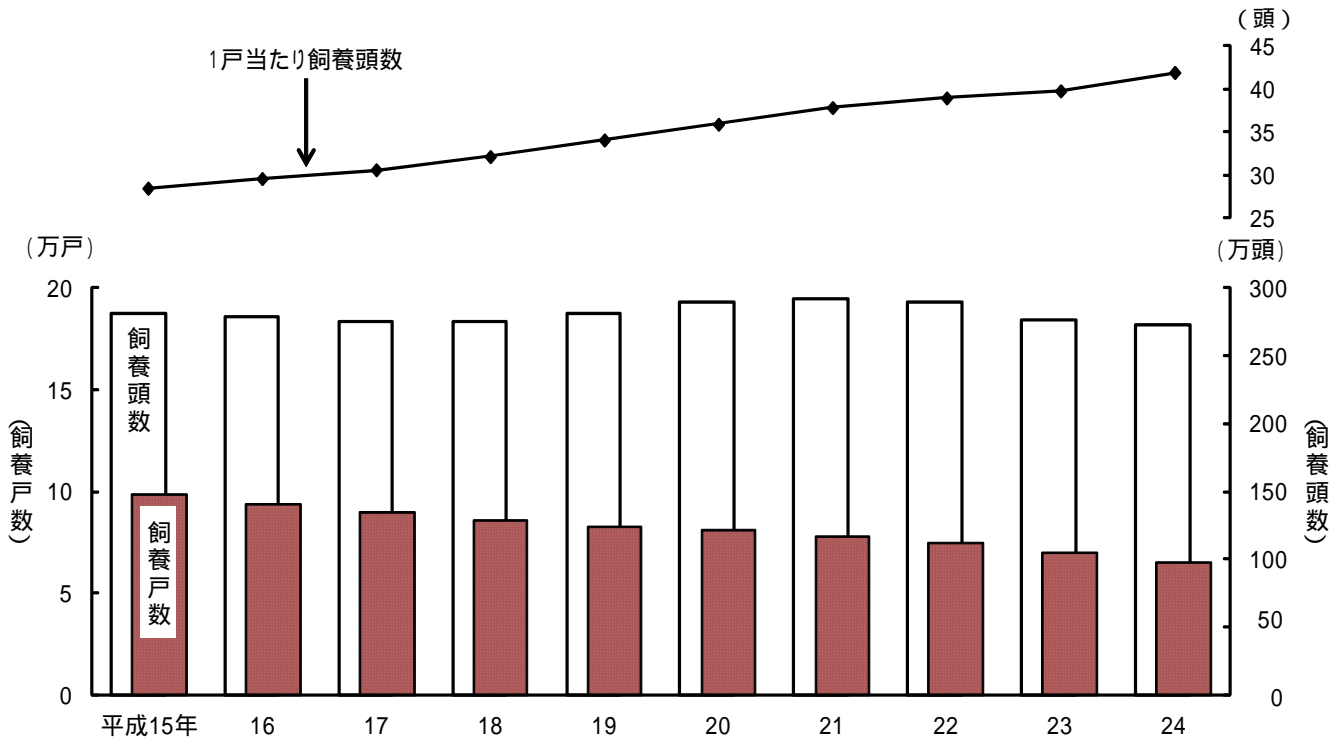


表5 肉用牛の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	
		計	肉用種	乳 用 種				
				小 計	ホルスタイン種他	交雑種		
戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭		
実 数 平成 22年	74,400	2,892.0	1,924.0	968.3	421.0	547.3	38.9	
	23	69,600	2,763.0	1,868.0	894.8	411.8	483.0	39.7
	24	65,200	2,723.0	1,831.0	891.7	392.5	499.1	41.8
対前年比 (%)	23/22	93.5	95.5	97.1	92.4	97.8	88.3	-
	24/23	93.7	98.6	98.0	99.7	95.3	103.3	-
構 成 比 (%) 平成 22年	-	100.0	66.5	33.5	14.6	18.9	-	
	23	-	100.0	67.6	32.4	14.9	17.5	-
	24	-	100.0	67.2	32.7	14.4	18.3	-

(2) 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下イ及びウ並びに(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて「50～99頭」の階層で1.7%増加し、その他の階層で前年並み又は減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて「50～99頭」の階層で2.2%、「200頭以上」の階層で1.1%増加し、その他の階層で減少した。

なお、「200頭以上」の階層で飼養頭数の半数を占めている。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

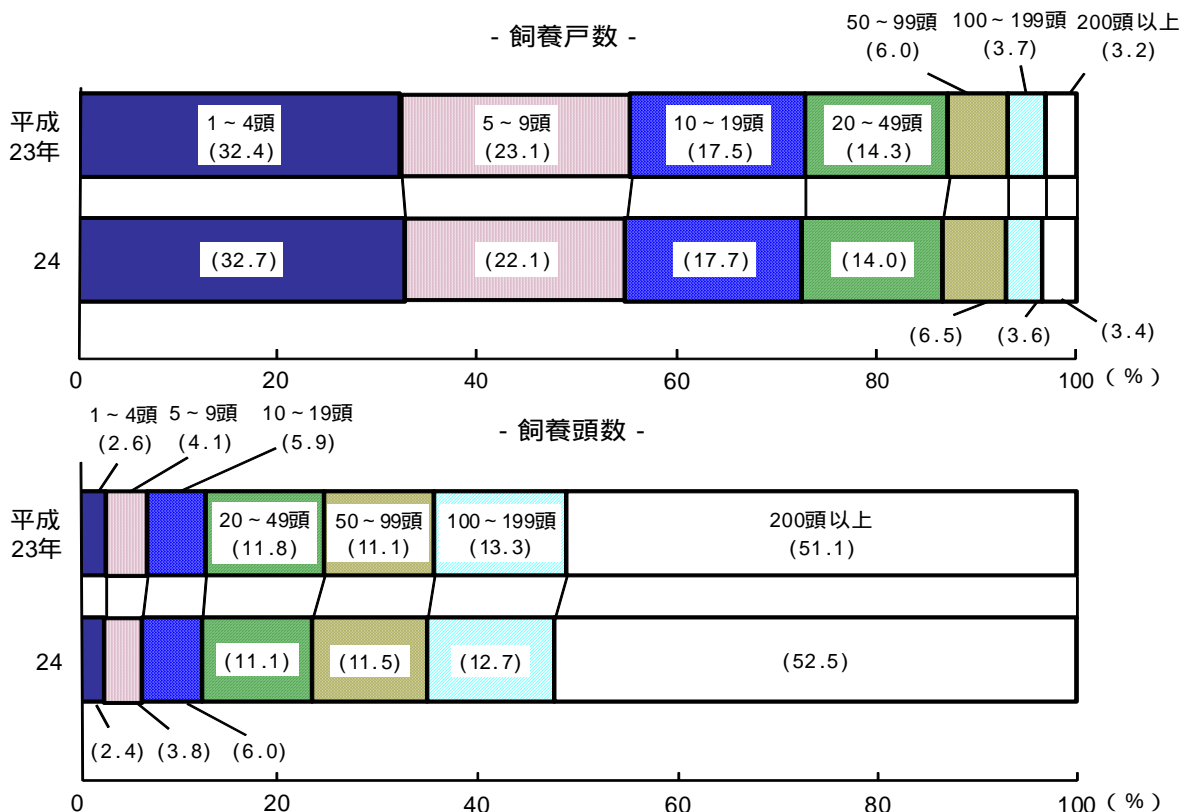


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	総飼養頭数規模									
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
飼養戸数											
実数	平成23年	戸	69,200	22,400	16,000	12,100	9,880	4,170	2,540	2,190	780
	24	戸	64,800	21,200	14,300	11,500	9,050	4,240	2,340	2,190	733
対前年比	24/23	%	93.6	94.6	89.4	95.0	91.6	101.7	92.1	100.0	94.0
構成比	平成23年	戸	100.0	32.4	23.1	17.5	14.3	6.0	3.7	3.2	1.1
	24	戸	100.0	32.7	22.1	17.7	14.0	6.5	3.6	3.4	1.1
飼養頭数											
実数	平成23年	千頭	2,736.0	71.0	112.6	162.7	321.9	303.7	364.8	1,399.0	947.5
	24	千頭	2,698.0	65.0	103.6	162.2	299.5	310.3	342.6	1,415.0	934.7
対前年比	24/23	%	98.6	91.5	92.0	99.7	93.0	102.2	93.9	101.1	98.6
構成比	平成23年	千頭	100.0	2.6	4.1	5.9	11.8	11.1	13.3	51.1	34.6
	24	千頭	100.0	2.4	3.8	6.0	11.1	11.5	12.7	52.5	34.6

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

(ア) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は5万6,100戸で、肉用牛飼養戸数の86.6%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「50～99頭」の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の飼養戸数	子 取 り 用 め す 牛 飼 養 頭 数 規 模							子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上	
実 数 平成 23年	69,200	59,100	29,600	13,500	8,840	5,470	1,280	400	10,100
24	64,800	56,100	27,300	13,300	8,500	5,260	1,310	382	8,690
対前年比（% 24/23	93.6	94.9	92.2	98.5	96.2	96.2	102.3	95.5	86.0
構 成 比（% 平成 23年	100.0	85.4	42.8	19.5	12.8	7.9	1.8	0.6	14.6
24	100.0	86.6	42.1	20.5	13.1	8.1	2.0	0.6	13.4

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(イ) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は1万400戸で、肉用牛飼養戸数の16.0%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「10～19頭」、「50～99頭」、「100～199頭」及び「200頭以上」の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の飼養戸数	肥 育 用 牛 飼 養 頭 数 規 模									肥育用牛なし
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成 23年	69,200	11,200	4,670	1,090	874	1,240	1,350	1,110	896	252	58,000
24	64,800	10,400	3,880	1,190	779	1,040	1,480	1,130	943	245	54,400
対前年比（% 24/23	93.6	92.9	83.1	109.2	89.1	83.9	109.6	101.8	105.2	97.2	93.8
構 成 比（% 平成 23年	100.0	16.2	6.7	1.6	1.3	1.8	2.0	1.6	1.3	0.4	83.8
24	100.0	16.0	6.0	1.8	1.2	1.6	2.3	1.7	1.5	0.4	84.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種（乳廃牛は除く。）を飼養している戸数は5,920戸で、肉用牛飼養戸数の9.1%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「5～19頭」の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の飼養戸数	乳 用 種 飼 養 頭 数 規 模								乳用種なし
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成 23年	69,200	6,110	2,200	894	666	581	705	1,070	394	63,100
24	64,800	5,920	2,010	1,030	647	578	631	1,030	396	58,900
対前年比（% 24/23	93.6	96.9	91.4	115.2	97.1	99.5	89.5	96.3	100.5	93.3
構 成 比（% 平成 23年	100.0	8.8	3.2	1.3	1.0	0.8	1.0	1.5	0.6	91.2
24	100.0	9.1	3.1	1.6	1.0	0.9	1.0	1.6	0.6	90.9

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(3) 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は5万4,900戸で肉用牛飼養者の84.7%となっている。

これを全国農業地域別にみると、九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

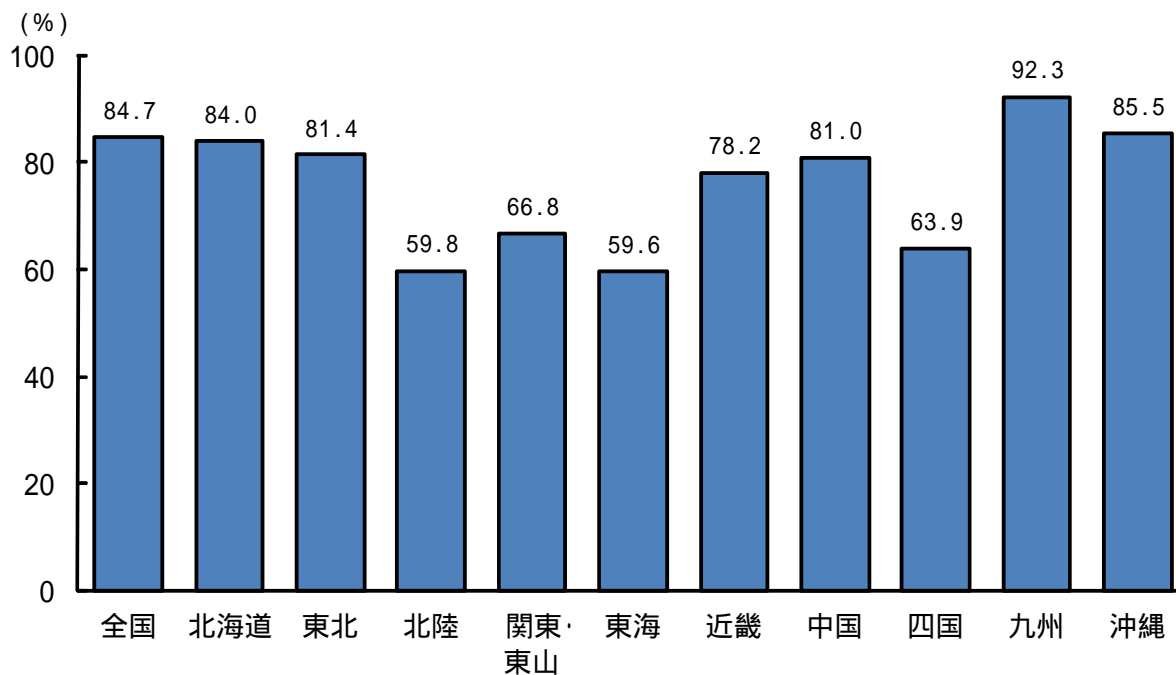


表10 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	64,800	54,900	84.7	252,500	184,400
北海道	2,810	2,360	84.0	91,500	79,800
東北	17,700	14,400	81.4	66,500	35,200
北陸	507	303	59.8	1,480	740
関東・東山	4,000	2,670	66.8	9,800	6,520
東海	1,420	847	59.6	2,630	1,570
近畿	2,020	1,580	78.2	2,550	1,380
中国	3,730	3,020	81.0	8,080	3,580
四国	947	605	63.9	1,450	800
九州	28,700	26,500	92.3	59,900	48,400
沖縄	3,040	2,600	85.5	8,580	6,490

注: この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は7,410戸で、肉用牛飼養者の11.4%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では39.1%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合

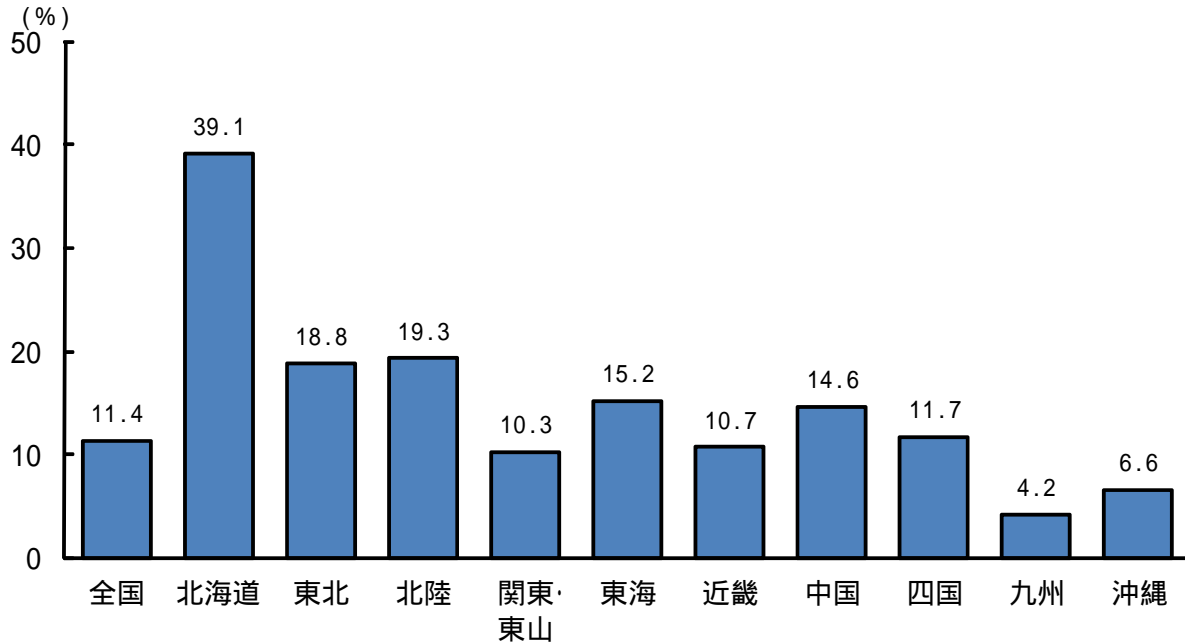


表11 肉用牛の放牧状況

区 分	飼養戸数	放牧をして いる 戸 数	放牧実施 戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全 国	64,800	7,410	11.4	97,100
北 海 道	2,810	1,100	39.1	39,400
東 北 北	17,700	3,320	18.8	19,700
北 陸	507	98	19.3	450
関 東 ・ 東 山	4,000	412	10.3	3,410
東 海	1,420	216	15.2	1,890
近 畿	2,020	216	10.7	1,740
中 国	3,730	546	14.6	5,980
四 国	947	111	11.7	1,390
九 州	28,700	1,200	4.2	17,000
沖 縄	3,040	200	6.6	6,250

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

3 豚

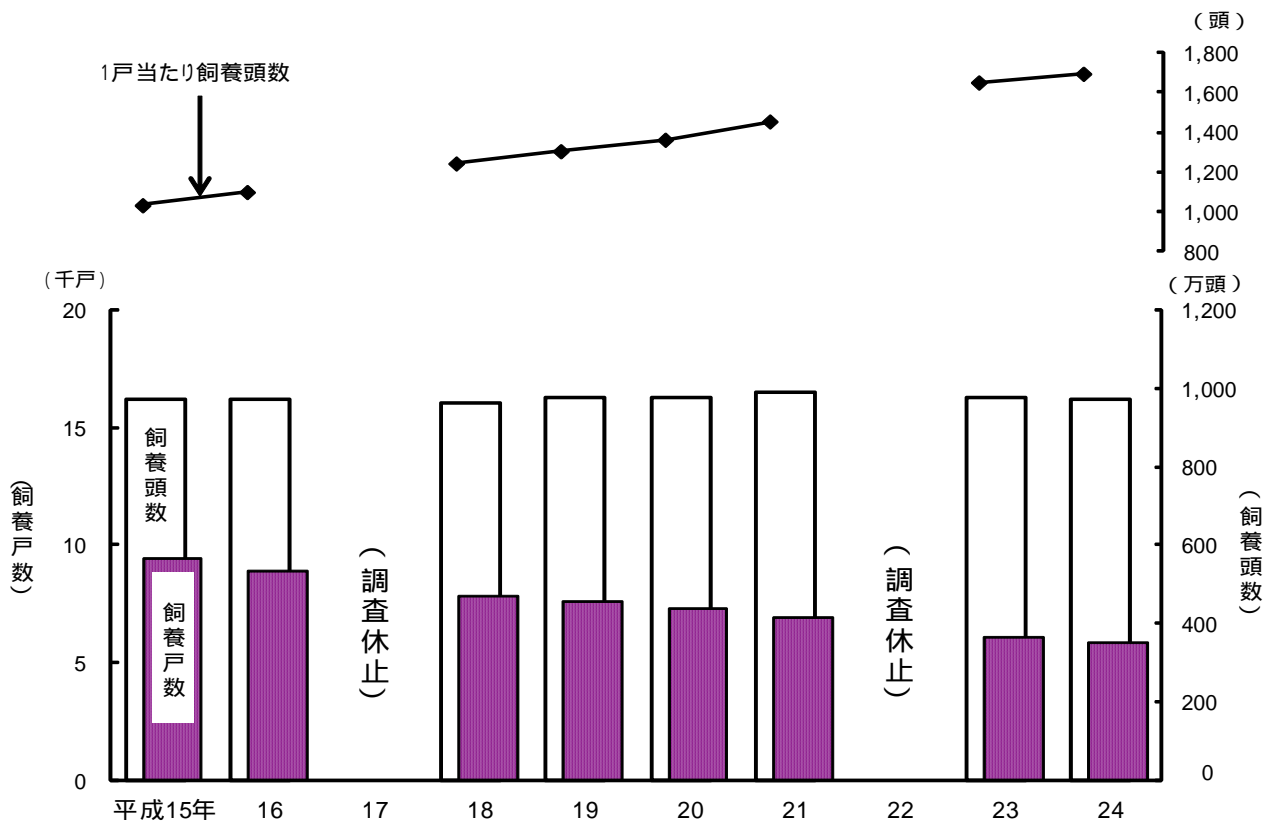
(1) 飼養戸数・頭数

平成24年の全国の豚の飼養戸数は5,840戸で、前年に比べて170戸（2.8%）減少した。

飼養頭数は973万5,000頭で、前年に比べて3万3,000頭（0.3%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、子取り用めす豚は90万頭で前年に比べて1,800頭(0.2%)減少し、肥育豚は814万5,000頭で前年に比べて4万1,000頭(0.5%)減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は1,667.0頭で前年に比べて41.7頭増加し、1戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は183.7頭で前年に比べて7.2頭増加した。

図9 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表12 豚の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数		飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	子取り用めす豚
	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	計	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他		
	戸	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	頭
実 数 平成 21年	6,890	5,930	9,899.0	936.7	57.1	8,220.0	685.7	1,436.7	158.0
23	6,010	5,110	9,768.0	901.8	51.8	8,186.0	628.7	1,625.3	176.5
24	5,840	4,900	9,735.0	900.0	51.9	8,145.0	638.7	1,667.0	183.7
対前年比									
(%) 23/21	87.2	86.2	98.7	96.3	90.7	99.6	91.7	-	-
(%) 24/23	97.2	95.9	99.7	99.8	100.2	99.5	101.6	-	-
構 成 比 平成 21年									
(%) 23	100.0	86.1	100.0	9.5	0.6	83.0	6.9	-	-
(%) 24	100.0	85.0	100.0	9.2	0.5	83.8	6.4	-	-
(%) 24	100.0	83.9	100.0	9.2	0.5	83.7	6.6	-	-

注：平成22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

(2) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前年に比べて「300～499頭」の階層で0.6%、「1,000～1,999」の階層で3.8%、「2,000頭以上」の階層で1.4%増加し、その他の階層で前年並み又は減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて「300～499頭」の階層で1.0%、「500～999頭」の階層で3.7%、「1,000～1,999」の階層で3.3%増加し、その他の階層で減少した。

なお、「2,000頭以上」の階層で飼養頭数の約7割を占めている。

図10 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

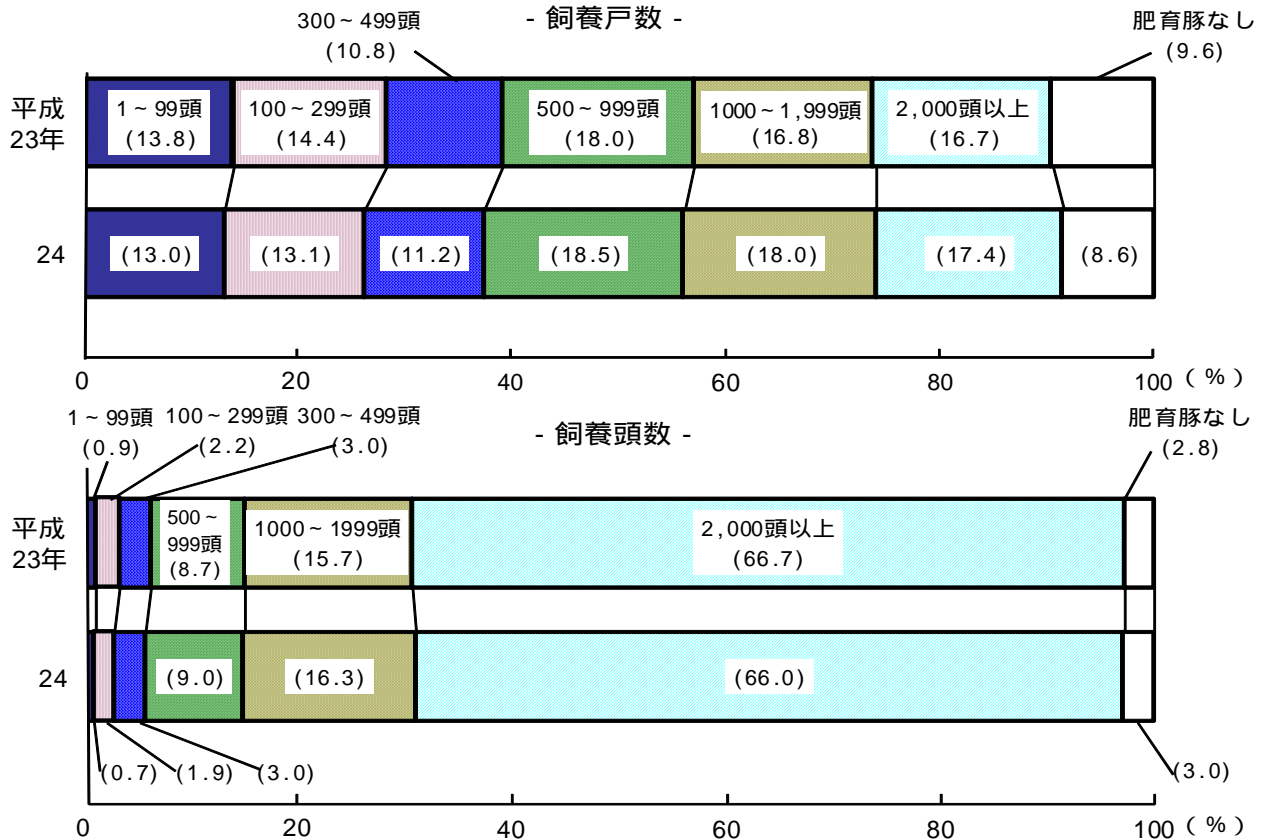


表13 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	肥育豚飼養頭数規模								肥育豚なし	
			小計	1～99頭	100～299	300～499	500～999	1,000～1,999	2,000頭以上	うち、3,000頭以上		
飼養戸数												
実数	平成23年	戸	5,840	5,280	808	841	631	1,050	983	973	600	558
	24	戸	5,670	5,180	738	745	635	1,050	1,020	987	619	490
対前年比	24/23	%	97.1	98.1	91.3	88.6	100.6	100.0	103.8	101.4	103.2	87.8
構成比	平成23年	戸	100.0	90.4	13.8	14.4	10.8	18.0	16.8	16.7	10.3	9.6
	24	戸	100.0	91.4	13.0	13.1	11.2	18.5	18.0	17.4	10.9	8.6
飼養頭数												
実数	平成23年	千頭	9,726.0	9,457.0	86.5	215.8	288.2	844.6	1,530.0	6,492.0	5,355.0	269.3
	24	千頭	9,692.0	9,397.0	70.3	186.2	291.2	876.2	1,580.0	6,394.0	5,294.0	294.7
対前年比	24/23	%	99.7	99.4	81.3	86.3	101.0	103.7	103.3	98.5	98.9	109.4
構成比	平成23年	千頭	100.0	97.2	0.9	2.2	3.0	8.7	15.7	66.7	55.1	2.8
	24	千頭	100.0	97.0	0.7	1.9	3.0	9.0	16.3	66.0	54.6	3.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

4 採卵鶏

(1) 飼養戸数・羽数

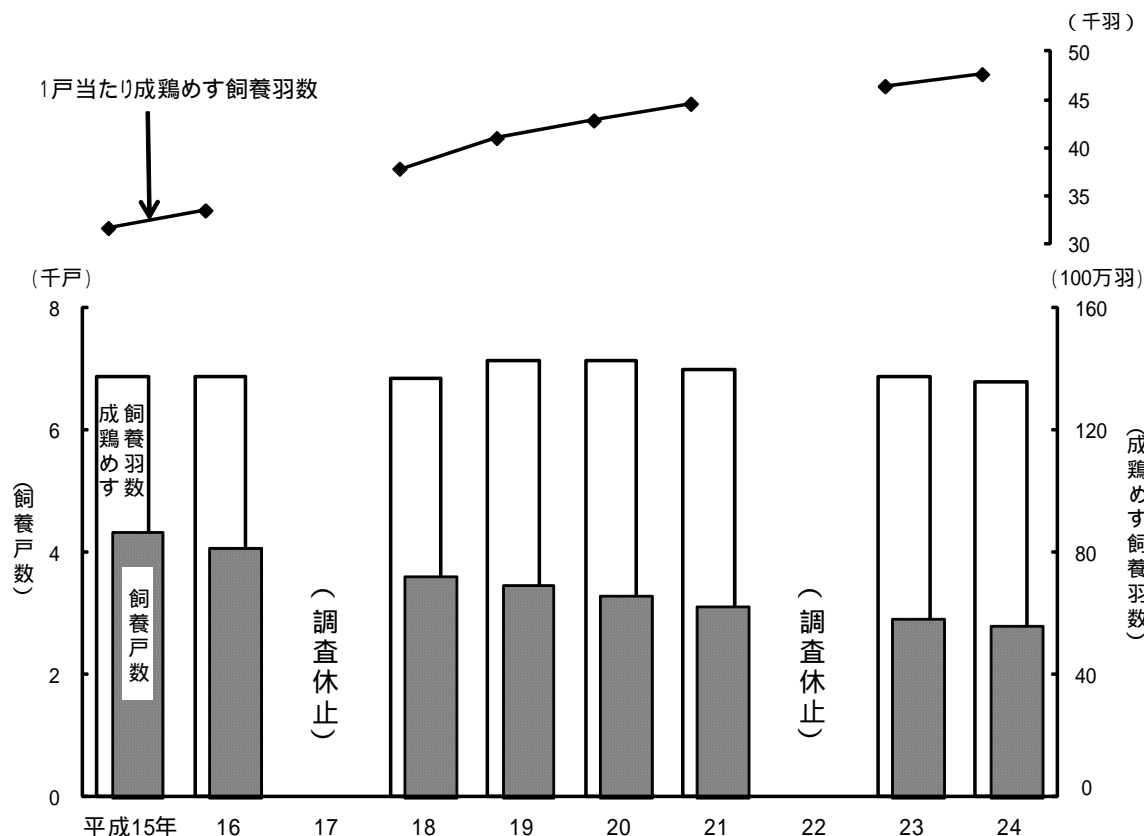
平成24年の全国の採卵鶏の飼養戸数は2,890戸で、前年に比べて40戸（1.4%）減少した。

飼養羽数は1億7,760万7,000羽で、前年に比べて93万9,000羽（0.5%）減少した。

このうち、成鶏めすの飼養羽数は1億3,547万7,000羽で前年に比べて187万5,000羽（1.4%）減少した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は4万8,200羽で前年に比べて1,300羽増加した。

図11 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表14 採卵鶏の飼養戸数・羽数

区 分	採卵鶏の飼養戸数	飼 養 羽 数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏 (種鶏を除く)	成鶏めす (6か月以上)	
	戸	千羽	千羽	千羽	千羽
実 数 平成 21年	3,110	180,994	178,208	139,910	45.0
23	2,930	178,546	175,917	137,352	46.9
24	2,890	177,607	174,949	135,477	48.2
対前年比 (%) 23/21	94.2	98.6	98.7	98.2	-
24/23	98.6	99.5	99.4	98.6	-
構 成 比 (%) 平成 21年	-	100.0	98.5	77.3	-
23	-	100.0	98.5	76.9	-
24	-	100.0	98.5	76.3	-

注：1 飼養戸数には種鶏のみの飼養者及び成鶏めす1千羽未満の飼養者を除いている。

2 平成22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

(2) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

成鶏めす飼養羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前年に比べて「50,000～99,999」の階層で4.2%増加し、その他の階層で減少した。

また、成鶏めす飼養羽数は前年に比べて「50,000～99,999羽」の階層で0.6%、「100,000羽以上」で0.3%増加し、その他の階層で減少した。

なお、「100,000羽以上」の階層で飼養羽数の約7割を占めている。

図12 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数の構成比

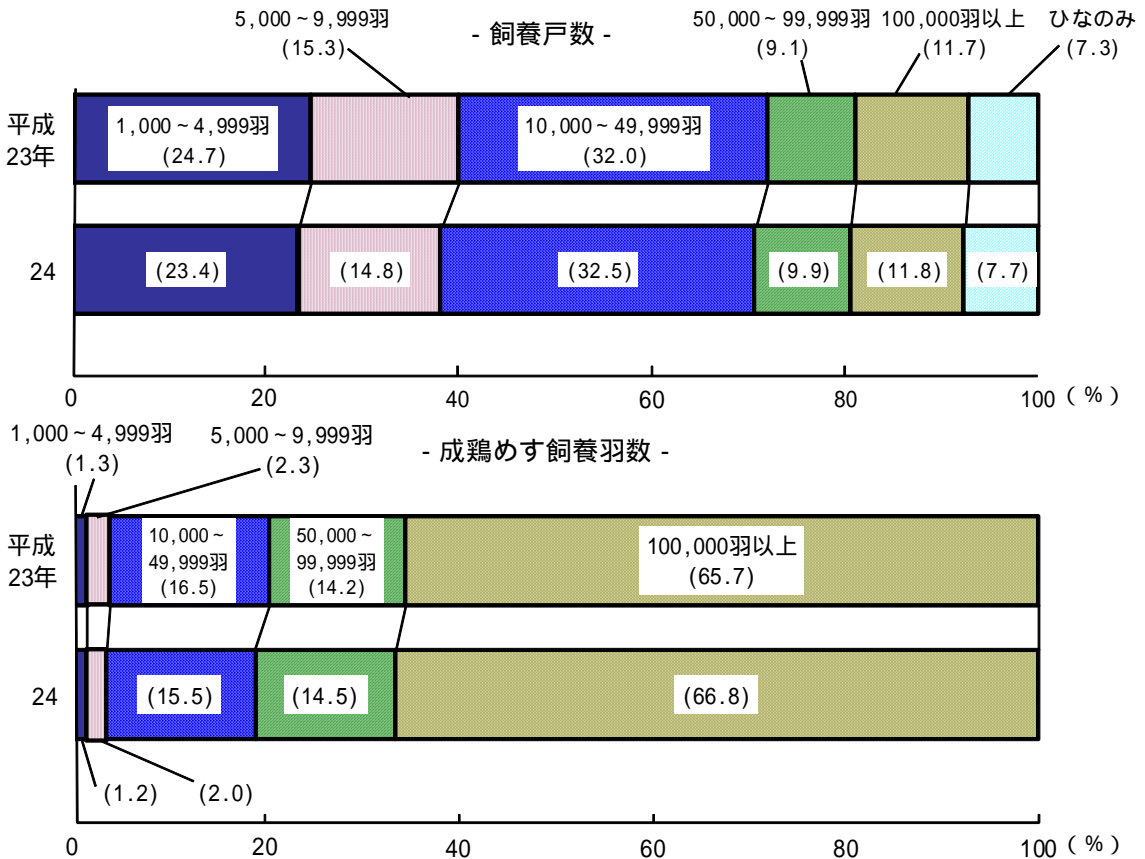


表15 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区 分	単 位	計	成 鶏 め す 飼 養 羽 数 規 模					ひなのみ	
			1000～4,999	5,000～9,999	10,000～49,999	50,000～99,999	100,000羽以上		
飼 養 戸 数	実 数 平成 23年	戸	2,880	712	442	922	263	336	209
	24	"	2,770	648	410	900	274	327	213
	対前回比 24/23	%	96.2	91.0	92.8	97.6	104.2	97.3	101.9
	構 成 比 平成 23年	"	100.0	24.7	15.3	32.0	9.1	11.7	7.3
	24	"	100.0	23.4	14.8	32.5	9.9	11.8	7.7
成 鶏 め す 飼 養 羽 数	実 数 平成 23年	千羽	137,187	1,826	3,110	22,655	19,513	90,083	-
	24	"	135,282	1,600	2,764	20,980	19,624	90,314	-
	対前回比 24/23	%	98.6	87.6	88.9	92.6	100.6	100.3	-
	構 成 比 平成 23年	"	100.0	1.3	2.3	16.5	14.2	65.7	-
	24	"	100.0	1.2	2.0	15.5	14.5	66.8	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。